

経過報告

2002 年 10 月 25 日 01ca0125 鈴木 藍

はじめに 現在の卒業研究の進捗状況と、今後の作業予定を報告する。

1 作業方針

反復は週単位で行い、週ごとに一つ以上の成果物があることが基本。週前半で目標、マイルストーンを考え週末に反省を行う。

2 分析フェーズの成果物

- Use-Case 図 (第一版、第二版)
- ユースケースとシナリオ
- 作業予定表
- する事リスト
- リスクリスト
- 外部インタフェースのプロトタイプ プログラム
- 週ごとの目標、する事リスト

2.1 成果物の置き場所

自宅 Wiki に成果物を整理しておき、学校 Wiki にリンクをはる。

3 今週の予定

3.1 設計フェーズ

予定としてはもう設計フェーズに入っているので、インタプリタ部のプロトタイプの作成、VM の設計、言語仕様の決定を行う。

3.2 作業内容

- コンパイラの調査 (継続作業)
- インタプリタ部のプロトタイプ作成 (設計書提出までには)
- VM の設計 (設計書提出までには)
- 言語仕様の決定 (ほぼ決まっているが、細かい部分の調査が必要)
- GNU-Smalltalk のソース解析 (プロトタイプの参考)
- GUI 部とプロトタイプの連結 (プロトタイプ作成の方が優先)

3.3 現在行っている作業

- CAMPUS LISP、GNU-Smalltalk、その他インタプリタのソース解析

処理部を中心にソースを解析する。今週の目標の成果物はインタプリタ部のプロトタイプで、変数の宣言、制御構造、オブジェクトの定義を実装したい。

不安要素・疑問点 もう少し自分で悩みたいです。